

2024 年 6 月 13 日

2024 年 5 月度市況

東京洋紙同業会（紙青会作成）

<印刷用紙 A>

平判は学参関連、金融関連などの荷動きが前月に引き続き堅調に推移し、前年を上回った。

巻取は学参、生損保、株主総会関連に動きがあったものの、大口物件がみられず前年を下回った。

（前年比 平判 103.8% 巻取 90.7%）

再生紙平判は入札案件の受注減少により前年を下回った。

再生紙巻取は定期物件に加え、役所、官公庁関連にも動きがあり前年を上回った。

（前年比 再生上質平判 84.6% 再生上質巻取 103.7% 再生上質計 96.9%）

（前年比 印刷用紙 A 全体 100.7%）

<A2 コート>

平判は旅行関連印刷物の動きは堅調な状況が続いているが、不動産等のチラシ案件等の落ち込みやその他商印関連の動きが乏しく、グロスの前年をわずかに上回り、マットは前年を下回った。

巻取はスーパーやドラッグストア、デリバリー等の定期チラシ案件の動きがあったが、雑誌のページ減、部数減が続く、また学習塾等の教育関連、不動産関連のチラシの落ち込みが続いており、グロス、マット共に前年を下回った。

（前年比 平判 99.2% 巻取 97.3% 全体 98.9%）

<A3 コート>

食品スーパー、ドラッグストア、デリバリー等の定期的なチラシ案件と株主総会関連で動きがあったが、教育関連や不動産関連のチラシの大幅な落ち込みやスポット案件の減少により、平判は前年を大幅に超えたが、巻取は前年を大幅に下回った。

（前年比 平判 117.9% 巻取 85.9% 全体 92.3%）

<ノーカーボン紙>

平判は手書き帳票の動きが若干見られ、巻取は主税局や都道府県税案件の動きはあったが、生損保系帳票の動きが鈍く、巻平共に前年を下回った。

（前年比 平判 96.7% 巻取 93.0%）

<上質フォーム>

株主総会関係の通知物や各自治体の税金納付書案件、国保カード台紙案件などが集中し、都知事選案件も一部動きはじめ、前年を大幅に上回った。

（前年比 113.6%）

＜包装用紙＞

特殊両更は株式関連等の需要はあったものの全体的な動きは低調で前年を大きく下回った。

（前年比 84.4%）

片艶晒は流通銘柄が 1 銘柄増えた事により片艶晒離れが落ち着き前年とほぼ同等の動きとなった。

（前年比 95.5%）

両更晒は旅客会社向け、通信会社向け等一般企業向け封筒に動きがあり前年を上回った。

（前年比 106.8%）

色クラフトは一般企業向け、学校法人向け封筒等に動きがあり前年とほぼ同等の動きとなった。

（前年比 99.1%）

純白ロールはスーパーマーケットの包装紙とお中元など贈答用の包装紙にも動きがみられ前年を上回った。

（前年比 119.3%）

包装紙全体でも 102.2%と前年を上回った。

＜板紙＞

コートボールは大型連休明けのリピート発注も町場のコンバーターの動きが悪く食品、菓子関係は低調であったが、医薬関連などは安定しており前年並みであった。

特板は化粧品などが堅調で、高板もトレーディングカードが好調であった。

チップは、チョコレート向けの貼り箱用が原料のカカオの値上げにより一部規格変更などにより生産調整された影響があり低調であったが、全体としては前年を上回った。

（前年比 103.5%）